



かいご げんば 介護の現場から



前に勤めていた病院で、数年間ですが地域包括ケア病棟に勤務して
 いました。地域包括ケア病棟は医師、看護師、リハビリスタッフ、
 ソーシャルワーカーなどが連携して患者が在宅や介護施設へ復帰す
 るのを支援する病棟です。患者への支援はもちろん、退院後、介護
 をする家族に病院へ通ってもらいオムツ交換や痰の吸引、胃ろうか
 らの栄養剤の注入方法なども指導していました。退院が決まると、
 必要な場合は退院前カンファレンスをします。家族、ケアマネージャー、
 訪問看護師、施設スタッフなどに病院に来てもらい、本人も交えて
 医師、看護師、リハビリスタッフなどが入院中の経過や状態を伝え、
 退院後のサービスや気を付けてほしい事などの情報交換をします。
 病棟看護師としては、退院後の生活は聴き取りをして想像するしか
 なく、心配だなどと思う患者もいました。今は訪問看護師をしていて、
 病棟看護師とは逆の立場で退院前カンファレンスに参加しています。
 カンファレンスは、自宅や施設、家族のことなど知ることができる
 重要な場なので、必要な情報を聞き逃さないように気を引き締め、
 利用者が安心してスムーズに病院から在宅、介護施設での生活に戻
 れるように、多職種と連携して支援していくことを心がけています。

(共生の里訪問看護ステーション：Y看護師)

